# 旧佐川邸の公園化を考える会 議事録

令和3年7月25日13時00分～15時05分＠上水南公民館

出席者：14名（敬称略）

ランドスケープデザイナー　S

小平市議：橋本（久）、安竹（氏名順）

記・安竹

当日配布資料：ワークショップについての検討事項、

ワークショップスケジュール案、

会員名簿、第1回検討会の進行計画案、公園計画案

頂いた資料：PPT

今回は、小平市企画政策部の有川部長も傍聴で参加されました。

## **公園プランについて**

* けやきヶ丘公園（小平市）などの紹介（S）
	+ 芝生は吹き付けで植栽、芝生は日陰では育たないのでその部分にはない
	+ 入口部分は舗装されている
* 佐川邸近辺は、猫じゃらしやヤブガラシなど、背の高い草が多い。かえって芝生ではない方が、手入れが楽。虫がついたり、芝刈りが必要だったりのものより、シロツメクサなど背の低い草がはびこっていた方が、背の高い草が生えにくいのでは、背の高い草だけは、みんなでむしればいいのでは。（O）
* 昔は小さい子が隠れるくらい雑草が育っていた。子どもにとっては、しゃがむと、かくれんぼができるくらいの草があってもよい。（W）
* 公園の中でもあえて草を刈らずに残して、バッタなどもきて、そういった生き物と触れ合うなど空間づくりをしているところもある。（S）
* いろいろな虫がいる。蚊も多いのでそれをなんとかしないと、と思っている。間違っても除草剤をまかないように。近くで改築している家があるが、除草剤がまかれて、犬の散歩コースになっているので、そのあたり気を付けたい。雑草だらけにしていると、気にする方もいるので、そういったことも考えあわせないと。パソコンやテレビを捨ててしまう人もいる。粗大ごみを捨てたくならない環境にする必要がある。（O）
* 今後ワークショップを行う中で、具体的にどうしていきたいといった意見が出てくると思うので、そのあたりをまとめて、できるだけ皆さんが納得できるように。（S）
* 先日、市の公園課の方と会ったが、大きくなった木を一部ばっさり切ってくださいと依頼すると、木は切られると、必死になって伸びようとする、そうすると将来的に大きくなってしまうところがある。そういったことも考えないといけないのかと思う。（W）
* また、木がどんどん大きくなり、思わぬところに広がる。頼むと公園課は切ってくれるが、公園は300以上あり、お金も大変かかる。そういう問題もある。（W）
* 有機フッ素化合物が井戸から出たという話はどうなっているか。（O）
* 小川浄水場などの近くに井戸を掘り、水道に水を取り込んでいた。小平市に13か所あるが、PFOS、PFOAが検出されたので、いまは止めている。米軍横田基地の消火剤が漏れたのではないかといわれているが原因は不明。小平市は井戸水を飲料水として指定しているところもあるが、それを変える必要もあるのではと思っている。植物にはまったく影響がない。（K）
* 井戸を掘ったとして、農作物を作った場合、それに使うことも大丈夫か。（O）
* 大丈夫。小平の農家はかなり井戸を使っているところがある。問題ない。飲み水としてはやめた方がよい。（K）
* いま、予定地に、子ども達がほぼ毎日夕方になると入って遊んでいる。最初に周辺の住人が望んだのは、静かな環境を守ってほしいということだった。案には草地広場が大きく予定されているが、草地で野球・サッカーがはじまると困る。オンラインで仕事されている方も多い。騒音がいやで、公園にするにも、住宅にするにも、静かな環境を守ってほしいと思っている。草地広場だと心配。いま、お子さんが5～6人で、大人と一緒にほぼ毎日入っている。トラブルがあると困るので直接注意できない。（K）
* 当然入ってはいけないとなっているから、公園課と話をしてみる。小平市の公園は、基本的に球技はダメ。東側だけでも対策をするなど必要があるかもしれない。（橋本）
* 黄色いテープが古くなっているところがある。（O）
* ボール遊びは、各自治体あるが、ほぼ禁止にしているケースもある。看板にもどういうボール遊びがいけないのかといったことが書いていないので、それが伝わっていないことがある。小さいお子さんが、やわらかいボールで遊ぶことなら、許可しているところも増えている。住宅に隣接しているところは迷惑になりがちなので難しいところがあるが、子どもの遊び場が減っていく中で、ボールを使いながら遊ぶことがスポーツにつながっていくなど、なにかしらやれる環境があればやらしてあげたいということでルール作りをはじめている自治体も多い。周辺の人たちのこともあるのでそのあたりを考える必要がある。（S）
* ボール遊びについては、私もいろいろなところでボールに触れ合えたほうがよいと思うが、学校で遊んでもらうのが一番よい。住民の声があるので。（橋本）
* 草地広場にして、草を長めにしておくと、サッカーがやりづらいなどある。そういう方法もある。（S）
* 看板の設置もしてもらった方がよいと思う。看板を作る場合は、今後住民と協議しながら公園整備を進めていきますといったことも、アナウンスとして入れてもらった方がよいように思う。（橋本）
* 子どもにとっては楽しそうではあるが、危ないと感じることがある。かわいい子だけがくるとは限らない。防犯の観点から言っても、ちゃんとしたルールで作ってもらいたい。（K）
* ボール遊びもまったくダメとなるのはどうか。時間帯で切るとか、年齢で、小学校低学年までとか、やわらかいボール遊びなどはできるようにしてはどうか。（O）
* ワークショップを行うなかでいろいろと検討していければと思っている。（S）

## **有川部長から、ふるさと納税活用に関して**

傍聴にいらっしゃった有川部長より、次のようなコメントをいただきました。

「この場で新しいことでお話できることはないが、尾崎財政課長からご説明させていただいたことがありますが、土地を売らないことも含め財源をどうしていくかを市の方で考えてほしいという趣旨で、市議会で請願が通った。どれくらいの額がかかり、どういう形で財源を確保していけばよいかを、財政の方でも私の方でも考えている途中。整備費と、それに合わせての面積が、市としても大きな課題と考えている。小平市ではこれまでふるさと納税のクラウドファンディングはやっているが、こういう形で活用するのは初めての経験。どういう枠組みを作っていけばよいのかということで、現在検討している。どれくらいの期間で行うか、どれくらいの目標額にするか、それによってどれくらい売らないで済むのかを、シミュレーションしないとならないと思っている。市と、地域住民の皆さんで、一定の合意、『ここでやってみましょう』というところを合意していく必要がある。シミュレーションをして、どういう想定でならいけそうだというところの共通理解を形成していきたい。考え方について整理させていただいているところ。8月に間に合うか分からないが、できるだけ早い段階でお示しできればと思っている。」

* こういう市民の集まりの場に部長が来ていただくということは今までに無かったこと。大きな変化と感じる。（橋本）
* 大変お忙しい中、大きな決断をしてくださり、大変ありがたいと思っています。（安竹）

## **ワークショップについての検討**

配布資料をご参照ください。

**参加者募集のお知らせについて**

* Yさんはすべて参加できるかは分からないが、ご参加予定に。
* Kさんもご参加予定に。ご予定が入っている日があり、その日が難しい場合は、ご主人様にお願いしていただくかもしれないとのこと。
* Oさん、Nさん、HさんにはOさんからお願いしていただく。
* ８月末までに基礎的な人数を把握したい。
* 自治会を通す場合、周辺の人だけに、というのは難しい。
* ピンポイントでポスティングはできる。
* 旧佐川邸に隣接している住居には、OさんとKさんがお知らせにまわってくださる。
* 案内書は、8月初旬くらいまでに作成し、8月下旬までにお知らせする。
* もう少し広く配った方がよい。こういうことをやっているということを地域の人に知ってもらうのはよい。（橋本）
* これくらいの規模の公園だと250メートルくらいが公園の利用者の範囲、その範囲には最低限案内をしておくのがよい。（S）
* 自治会の方は8月初旬にお知らせを配るタイミングがないので難しい。（W）
* 250メートルの範囲くらいにはポスティングで配れる。（W）

**ワークショップについて**

* グループの進行補助は、５～６名なら1人でも大丈夫かもしれないが、8名くらいになると、2人はいたほうがよい。（S）
* 各グループに記録係がいるとよい。（W）
* 人が多くなるようであれば各グループの記録は音声録音などで代用を考えては。（安竹）
* よくやるのは大きな模造紙をグループごとに配り、付箋紙をくばってはってもらうのが楽。模造紙に記録する人が必要。（K）
* コロナ禍で、部屋の定員が27名になっているので、そのことは覚えておかないといけない。人数が多いようなら議員は外に出ているなど。（橋本）
* 15時半からのグループワークは1時間前倒しにした方がよさそうだ。（S）
* 9月19日の時点では案がまとまらないのではないか（K）
* 新しい方がどれくらい参加されるか分からないが、前段として提案しているプランがあり、草地の広場をどうしたいかなど、なにかしらのイメージはある状況。まず1回目はある程度状況を把握してもらう。「防犯のためにフェンスをつくらなければいけない」といったことの課題を共有できればと思う。住民の意見として、この公園をどういう空間にしていきたいといったこと、大きなところをまとめていきたい。フェンスもお金の問題もあるので、最終的には設計の計画で決まる。公園の最低限のしつらえなど、ある程度方向づけをしていければ。予算に基づくなかで、どういう施設が入れられる、となる。「ここをどういう場所にしたい」という思いを語ってもらうことを中心にしたい。ここで示した計画案について議論してもらうことを。（S）
* たとえば9月19日までに、近隣の方にOさんKさんがお話していただく際に、事前にお話しいただくのはどうか。（O）
* ワークショップへの参加を聞いて回るときに、アンケートのようなもの、意見はどうかといったことをあらかじめ聞いておき、ワークショップまでに住民の方々とで、近隣はどう考えているかを、事前に吸い上げておくことが必要ではないかと思う。近隣の方でぜんぜん分からない人もいると思う。（K）
* アンケートはすでに2月から3月にとってまとめている。自治会で配布している。これを土台にしていけると思う。（O）
* 自治会を中心に配っていただいており、回答数も多かった。その中でも反対意見をいただいている方もいらっしゃる。改めてこの案を見ながら。周辺の方々には参加していただきたいが、参加していただけなくとも、何かしらの形でお伝えできれば。たとえば防犯といったときに、一般の方が考えていらっしゃることに対して、専門家からの視点での提案もある。費用もかからず、住民の意向も反映できるといったこと。いずれにしても、意見が分からないと対応ができないところがある。ワークショップにご参加できなくとも、思いを持たれている方の声は受け止めていく必要がある。（S）
* アンケートを取った結果などは、考えるための材料になるのではないかと思う。コピーなども一緒にお渡しして、その方が、それぞれ頭の中でまとめてご意見を出していただいた方が時間的にもスムーズにいくのではないかと思う。いまの状況をおおまかにつかんでいただいて、ご意見をしていただいたらよい。「池は？」「草地は？」という話が、また一からになってしまうので。（O）
* 公園の周りに住んでいる方の最終の意見を聞くタイミングにきていると思う。最後のところにいって「そうなると思わなかった」ということがないように、一件、一件伺って「こういう話になっています」ということをお知らせして、細かく資料をお渡しすることはとても必要。（W）
* みなさんのご協力がないとうまくいかないと思う。できる限り、総意として、こういう公園になったらいいと思える形にしていくことがよい。自分たちで行うワークショップなので、みなさんに参加していただき、協力していただくのが一番。（S）
* 行政がやっていることに関し、根拠や結果が分からないことがよくある。アンケートをしたけど、どうなりましたか、そういったことが分かるようにしていきたいと思う。（O）
* 土地の3分の1を売る可能性もあるということ。（K）
* 一部を売却することになっても、草地広場が一部狭くなるとかの変更で対応できる、そういう前提でプラン立てをしている。（S）
* 皆さんの意見を吸い上げるときに、多少は吸い上げる。一番は、来ていただいてお話をしていただくのがよい。今、こうなんだというような資料をそろえてほしい。（K）
* 第一回ワークショップのときに、経緯や前提条件を説明する。（S）
* 前もって、かいつまんだものでよいので、お話する際に、10枚でよいので、資料があったほうがよい。予備知識があって参加していただく。（K）
* お金が集まる状況によっては、土地を売ることになる可能性もあるということ、草地広場が少し狭くなるかもしれないといったことも、しっかり記載しておいた方がよい。時系列でこれまでにどういうことがあったかという資料を作っているので、そういうものも、一枚程度で追加できれば。（安竹）
* 以前スライドで使用した資料がある、10枚くらいになるのであれば、そういったものを使っても。（S）
* 新しくまとめるのは大変だと思うので、これまでに作った資料を、これは出してよいというものを。なかなか来られなくなかった方に、流れが分かるように、喚起するという意味でも。（K）
* クラウドファンディングができる、できないというところはいつごろ決まるか。それが決まらないと、土地を売る、売らない、の根本的なところが決まらないのでは。（O）
* 財政課の方で検討していただいて、その回答を得てから。場合によって検討が長引けば、来年度からの実施設計が伸びるかも。（S）
* 計画案の中の草地広場の部分になるかわならないが、バッファーゾーン、クッションになるようなところ、売るということになっても、ワークショップで検討いただいた内容は生かせると思う。期限については、クラウドファンディングを何年間やるか、期限を区切って、スケジュール組みも合わせて、みなさんと市の方で共通理解を得て進めていくのがよいと考えている。（有川）
* ふるさと納税は、今年中に始められるとよい。今年一回りして、来年にもう一回りする。来年の3月までに2年分できるということになるので、そこで集まった額で面積を決めることでもよいかと考えている。（S）
* 返礼品なしで近隣の方も寄附できるという前提でやっていただいて、それなりの金額が集まるなら、もう一年やるともっと集まるのではといった見通しが立てられる。（S）
* 面積がある程度変わっても、公園の理念といったこれまで議論してきたことが生きる。（S）
* 多摩市のワークショップ例の資料をご参照いただければ。（S）
* 公園に毎日のように遊んでいるというお子さんと、大人の方にもご参加いただければよいと思う。（安竹）

## **宿題**

* 隣接住民の方々へ説明するための資料を作成する
* 隣接住民の方々へワークショップへのご参加をお願いに伺う（Oさん、Kさん）
* ワークショップの進め方等調整
* 時系列のチャートを事前配布に使えるよう、アンケート調査のことなどを追加（安竹）

## **次回**

次回は9月19日のワークショップ。

運営メンバーだけで事前に調整を行う可能性もある。